

授業科目名		担当者		
情報処理演習 I		竹野 博信		
授業の概要・履修上の注意事項				
<p>・日本語文書処理ソフト(マイクロソフトワード)を使用して、情報機器の操作技能およびレイアウトなどの表現力を養い、保育現場に必要な文書作成能力を身につけていきます。また、ネットワーク社会における情報モラルやWebコミュニケーションのあり方等について、事例を取り上げながら理解を深めていきます。</p> <p>・キーボードによる文字入力について、10分間に350字以上の文字入力ができることを目標とし、日ごろからタイピング練習をしておきましょう。</p> <p>・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがあります。</p> <p><u>※実務教員による授業科目。担当者は「関連企業の勤務経験があり、初級システムアドミニストレータほかコンピュータに関するさまざまな資格を取得しており、その経験と資格を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育現場で求められる文書作成能力、情報モラル、Webコミュニケーションのあり方」について獲得・理解することができる。</u></p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	オリエンテーション(概要説明、教室ガイダンス、Windows概論)	月 日	出・欠	
2	Microsoft Word概論(1)－画面構成、文節変換、ページ設定等の基本操作	月 日	出・欠	
3	Microsoft Word概論(2)－編集機能①(基本的な文章作成・編集、表の作成等)	月 日	出・欠	
4	Microsoft Word概論(3)－編集機能②(ページ罫線、ワードアート等の利用)	月 日	出・欠	
5	Microsoft Word概論(4)－編集機能③(図形、画像、テキストボックス等の利用)	月 日	出・欠	
6	保育現場で作成される文書の作成(1)－クラスだより①(学習した機能を使って)	月 日	出・欠	
7	保育現場で作成される文書の作成(2)－クラスだより②(1ページに収めるテクニック)	月 日	出・欠	
8	保育現場で作成される文書の作成(3)－給食だより	月 日	出・欠	
9	保育現場で作成される文書の作成(4)－運動会プログラム	月 日	出・欠	
10	保育現場で作成される文書の作成(5)－行事案内プリント	月 日	出・欠	
11	情報モラルと個人情報－著作権とプライバシー権を中心に	月 日	出・欠	
12	ネットワーク社会に潜む危険と対策－ウイルス対策を中心に	月 日	出・欠	
13	Webコミュニケーションのあり方①－SNSを中心に	月 日	出・欠	
14	Webコミュニケーションのあり方②－クラウドサービスを中心に	月 日	出・欠	
15	保育に活かすICT活用－スクリーン投影方法等(グループワーク)	月 日	出・欠	
授業で取り入れているアクティブラーニング				
課題(演習)、協同学習(グループワーク)				
課題、試験に対するフィードバックの方法				
課題や提出物に対して、講評を行う。試験、成績評価については、問い合わせがある場合に個別に応じる。				
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準		
<p>・予習：雑誌、インターネット等で保育現場で作成されているクラスだよりなどを見つけて考察する。【20分/週】</p> <p>・復習：課題に取り組む。【40分/週】</p>		定期試験60%、課題40%、合計100%		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
【テキスト】『30時間でマスター Office2019 (Windows10対応)』実教出版、『改訂4版 情報モラル&情報セキュリティ』FOM出版				
【参考文献】『保育者のためのパソコン講座』萌文書林、『情報処理テキスト～幼稚園・保育所の保育実践とメディアの活用～』みるめ書房、『情報リテラシー 入門編 Windows 10 / Office 2019対応』FOM出版				
【持参物】筆記用具、ノート				

授業科目名		担当者		
体育理論		水鷄口 陽一		
授業の概要・履修上の注意事項				
<p>・生涯にわたって健康で豊かな生活を送るためには、運動やスポーツについての幅広い知識を身に付けておく必要がある。しかし、現代の社会は、それに逆行し科学技術の飛躍的な発展などにより、生活が便利になり、体を動かす機会を減少させる状況である。本講義では、身体運動と健康の関係を運動生理学やスポーツ科学から考え、生涯スポーツにおける身体運動と健康の関連において、健康寿命を延ばす手立てとして大切なことを学ぶ。また、幼児期において、遊びを中心とする身体運動を十分に行うことによる効果や期待に触れ、保育者としての身体運動の意味と意義を考えたい。</p> <p>・安全面の配慮や怪我の対処の仕方、応急処置などの基本を身に付けることは、必ず覚えて実践していかなければならないので、授業中メモを取るなど心がけること。</p> <p>・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがあります。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は、元中学校保健体育教諭であり、その経験を生かして受講者は「他者との円滑なコミュニケーションを図りながら、問題を解決することができる」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	オリエンテーション、身体運動の意味と意義	月 日	出・欠	
2	身体運動と健康①（健康と体力、高齢化社会の健康問題について）	月 日	出・欠	
3	身体運動と健康②（地球環境・生命論理、発育と発達について）	月 日	出・欠	
4	運動生理学①（筋・呼吸循環器について）	月 日	出・欠	
5	運動生理学②（脳・神経について）	月 日	出・欠	
6	スポーツ医学①（生活習慣病とスポーツ医学について）	月 日	出・欠	
7	スポーツ医学②（肥満と食生活、運動と健康について）	月 日	出・欠	
8	幼児を取り巻く社会の現状と課題	月 日	出・欠	
9	幼児期における身体運動の意義	月 日	出・欠	
10	幼児期の身体運動の在り方	月 日	出・欠	
11	幼児の身体運動能力の測定①（測定内容とその意義）	月 日	出・欠	
12	幼児の身体運動能力の測定②（実践と測定結果）	月 日	出・欠	
13	救急法と怪我の応急処置	月 日	出・欠	
14	安全面の配慮	月 日	出・欠	
15	薬物乱用と学習内容についてのまとめ	月 日	出・欠	
授業で取り入れているアクティブラーニング				
課題(演習、小テスト、レポートなど)、実験、実技、実習、問答法、コメントを求める、振り返り(振り返りシート)、シミュレーション型学習(ロールプレイ、ゲーム型学習、模擬授業など)				
課題、試験に対するフィードバックの方法				
小テストや課題、提出物に対して、講評を行う。試験、成績評価については、問い合わせがある場合に個別に応じる。				
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準		
<p>・予習：運動習慣の大切さを意識し行動する。【2時間/週】</p> <p>・復習：時間内に終わらなかった課題を仕上げる。【2時間/週】</p>		<p>受講態度20%、課題・作品20%、 定期試験60%、合計100%</p>		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
【テキスト】『幼児期運動指針ガイドブック』文部科学省、その他必要に応じて、資料配付または資料を紹介する。				
【参考文献】東京大学身体運動科学研究室編『教養としての身体運動』東京大学出版会 幼児期運動指針策定委員会『幼児期運動指針』文部科学省				
【持参物】筆記用具				

授業科目名		担当者		
現代のマナー		小枝 加代子		
授業の概要・履修上の注意事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要とされる基本的なビジネスマナーを習得します。 ・実習、就職活動などいろいろな場面での対応ができるように実践力を身に付けることを目指します。 ・発表やプレゼンテーションを通して人前で話す経験を重ね、わかりやすい話し方や伝え方、並びに立ち居振る舞いを学びます。 ・学んだことを積極的に日常生活で活かしていくことを望みます。 ・オフィス・アワーとして授業前後の時間に質問を受け付けます。 ・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがあります。 <p>＊実務教員による授業科目。担当者はビジネスマナー・サービスマナー・キャリア開発等を主業務とする人材育成の会社の代表であり、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「社会人として求められるコミュニケーション能力や基本的な礼儀作法」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	オリエンテーション・立ち居振る舞い(あいさつ・立ち姿・お辞儀等)実技演習	月 日	出・欠	
2	ビジネスマナーの基本	月 日	出・欠	
3	組織内でのマナーとルール	月 日	出・欠	
4	電話対応のマナー①(電話対応の基本、受け方、かけ方)	月 日	出・欠	
5	電話対応のマナー②(電話の取次ぎ方、伝言の受け方、携帯電話のマナー)	月 日	出・欠	
6	来客対応のマナー①(来客対応の基本、受付～見送りまで、席次)	月 日	出・欠	
7	来客対応のマナー②(面会予約、名刺交換、茶菓接待のマナー)	月 日	出・欠	
8	話し方①(言葉遣い、敬語)	月 日	出・欠	
9	話し方②(接客用語、クッション言葉)	月 日	出・欠	
10	茶菓接待演習	月 日	出・欠	
11	交際のマナー①(慶事のマナー)	月 日	出・欠	
12	交際のマナー②(弔事のマナー)	月 日	出・欠	
13	交際のマナー③(贈答のマナー、食事のマナー)	月 日	出・欠	
14	ビジネス文書の基本①(社内・社外文書の形式)	月 日	出・欠	
15	ビジネス文書の基本②(社交文書;お礼状、あいさつ文の書き方)	月 日	出・欠	
授業で取り入れているアクティブラーニング				
課題(演習)、問答法、振り返り(振り返りシート)、協同学習(ペアワーク、グループワークなど)、シミュレーション型学習(ロールプレイング)、発表(スピーチ・プレゼンテーション)				
課題、試験に対するフィードバックの方法				
発表についての振り返り、フィードバック、指導については個別に行う。レポート課題についてのフィードバックは、課題返却時個別に行う。試験、成績評価については、問い合わせがある場合に個別に応じる。				
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準		
<ul style="list-style-type: none"> ・予習：新聞等でスピーチの情報収集を行い原稿を作成する。【3時間/週】 ・復習：テキスト、配付資料の内容を読み返す。【1時間/週】 		定期試験40%、 課題・プレゼンテーション・ロールプレイング(個別指導)40%、 受講態度20%、合計100%		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
【テキスト】 『ビジネスマナー基本テキスト』(日本能率協会マネジメントセンター) その他、必要に応じてプリントを配付する。 【持参物】 授業中に連絡する。				

授業科目名		担当者	
社会的養護 I		上栗 明男	
授業の概要・履修上の注意事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的養護の対象となる児童に対しての「かわいそうな子」というイメージを払しょくします。 ・社会的養護を要する児童の家庭的背景を理解し、子どもの心を癒し、さらに積極的に人間形成を行うための姿勢を養います。 ・評価はレポートを中心にしますが、その評価ポイントを事前に説明しておきます。 ・オフィス・アワーとして授業前後の時間に質問を受け付けます。 ・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがあります。 			
※実務教員による授業科目。児童養護施設47年間の実務経験があり、現在は児童心理治療施設の施設長をしている。			
授業内容・計画			実施日
1	社会的養護とは何か・入所児童からの訴え(作文集『続・泣くものか』)	月 日	出・欠
2	映画「石井のお父さんありがとう」前編(石井十次の実践)	月 日	出・欠
3	映画「石井のお父さんありがとう」後編(石井十次の実践の現代的意義)	月 日	出・欠
4	我が国の社会的養護の歴史～近代児童福祉の礎を築いた人々～	月 日	出・欠
5	子ども虐待の実態とその背景	月 日	出・欠
6	社会的養護の対象児と児童福祉施設	月 日	出・欠
7	社会的養護の基本原則①エンパワメント	月 日	出・欠
8	社会的養護の基本原則②自立と自律	月 日	出・欠
9	子ども集団の治療的・教育的活用	月 日	出・欠
10	家庭養護(里親制度)と家庭的養護(小規模化)	月 日	出・欠
11	施設養護の機能と指導内容①(基本的生活習慣)	月 日	出・欠
12	施設養護の機能と指導内容②(躰・マナー・一般常識)	月 日	出・欠
13	望ましい保育者像①(資質)	月 日	出・欠
14	望ましい保育者像②(チームワーク)	月 日	出・欠
15	まとめとフィードバック	月 日	出・欠
授業で取り入れているアクティブラーニング			
スピーチ(意見・感想・質疑応答を求める)			
課題、試験に対するフィードバックの方法			
成績評価における問い合わせには、数値化した「評価項目」とその理由を文書で対応します。			
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・予習：「子ども虐待事案」「保育現場の事故」等の報道に関心を持ってください。【2時間/週】 ・復習：テキストやプリントを読み返してください。【2時間/週】 		レポート(事前に設題し、評価ポイントを説明します)90%、受講態度等10%、合計100%	
テキスト・参考文献・持参物・検定料等			
【テキスト】櫻井慶一編著『社会的養護 I』北大路書房			
【参考文献】参考資料等をプリント配付します。			
【持参物】筆記用具			

授業科目名		担当者							
音楽Ⅰ		赤川優子・井上美佳・中村桂子・東尚子							
授業の概要・履修上の注意事項									
<p>保育者として自分自身が楽しむことを大切にしながら個人に合わせた実技指導を行う。間違いの有無だけでなく練習方法についてもフィードバックする。</p> <p>一斉授業；子どもの歌を60曲以上知り、楽典の基礎を理解する。授業形態；一斉授業（歌唱・楽典）⇄グループレッスン（ピアノ実技指導）</p> <p>実技到達目標；ピアノ初心者・・・試験でピアノ曲1曲が弾け、弾き歌いを10曲以上合格する。（楽譜：ステップⅠ程度）</p> <p>実技到達目標；ピアノ経験者・・・試験でピアノ曲1曲が弾け、弾き歌いを20曲以上合格する。（楽譜：ステップⅠ・Ⅱ程度）</p> <p>実技到達目標；ピアノ上達者・・・試験でピアノ曲1曲が弾け、弾き歌いを30曲以上合格する。（楽譜：ステップⅡ・Ⅲ・原曲）</p> <p>・オフィス・アワーとして授業後に質問等を受け付けます。</p> <p>・Google Classroomを活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがあります。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者赤川優子は元中学校、及び高等学校教諭、井上美佳は元中学校教諭であり、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「音楽の基本的な技能を身につけ豊かに表現することができる」を獲得することができる。</p>									
	授業内容・計画（一斉 赤川）	ピアノ初心者		ピアノ経験者		ピアノ上達者	実施日	出欠	
1	オリエンテーション・ピアノ実技目標達成について	課題確認		課題確認		課題確認	月 日	出・欠	
2	音楽基礎知識①楽譜の読み方・音名、歌唱（発声）について	ピアノテキスト1・2	カエルの合唱（ポジション移動）	ピアノテキスト 1～7	ぶんぶんぶん・ちようちよ	ピアノテキスト1～10	ぶんぶんぶん・ちようちよ・チューリップ	月 日	出・欠
3	音楽基礎知識②変化記号、歌唱（子どもの歌 4月）	ピアノテキスト3・4	メリーさんのひつじ（不等リズム）	ピアノテキスト8	こいのぼり・おつかいあいりさん	ピアノテキスト15（バイエル48番）	こいのぼり・おつかいあいりさん・こりのうた	月 日	出・欠
4	音楽基礎知識③音符と休符、歌唱（子どもの歌 5月）	ピアノテキスト3・4	かつこう（両手奏・ドソ）	ピアノテキスト9	あめふりまのこ	ピアノテキスト16（バイエル59番）	おはよう・おかえりのうた・おべんとう	月 日	出・欠
5	音楽基礎知識④-1拍子とリズム、歌唱（子どもの歌 6月）	ピアノテキスト5	むすんでひらいて（ドファン）	ピアノテキスト10	かたつむり・とけいのうた	ピアノテキスト17（バイエル66番）	あめふりまのこ・あまだれぼたん・かたつむり	月 日	出・欠
6	音楽基礎知識④-2拍子とリズム、歌唱（子どもの歌 7月）	ピアノテキスト6	ぶんぶんぶん	ピアノテキスト15（バイエル48番）	たなばたさま・きらきらぼし	ピアノテキスト19（バイエル86番）	たなばたさま・きらきらぼし・しゃぼんだま	月 日	出・欠
7	音楽基礎知識⑤音程、歌唱（子どもの歌 8月）	ピアノテキスト7	ちようちよ	ピアノテキスト16（バイエル59番）	うみ・しゃぼんだま	ピアノテキスト29（バイエル90番）	うみ・おぼれなんてないさ・アイスクリームのうた	月 日	出・欠
8	音楽基礎知識⑥-1音階 歌唱（子どもの歌 9月）	ピアノテキスト8	かたつむり（タッカタンタンのリズム）	ピアノテキスト17（バイエル67番）	おぼれなんてないさ	ピアノテキスト34（バイエル78番）	どんぼのめがね・大きな古時計・大きな栗の木の下で	月 日	出・欠
9	音楽基礎知識⑥-2音階 練習問題、歌唱（子どもの歌 10月）	ピアノテキスト9	おべんとう（タッカタンタンのリズム）	ピアノテキスト19（バイエル86番）	アイスクリームの歌	ピアノテキスト39（バイエル96番）	どんぼのめがね・おぼれなんてないさ・アイスクリームのうた	月 日	出・欠
10	音楽の基礎知識⑦-1調と調号、歌唱（子どもの歌 11月）	ピアノテキスト10	おはよう（増子とし詞）（タッカのリズム）	ピアノテキスト29（バイエル90番）	どんぼのめがね・どんぐりころころ	ピアノテキスト44（バイエル80番）	どんぐりころころ・まつぼっくり・山の音楽家	月 日	出・欠
11	音楽の基礎知識⑦-2 調と調号 練習問題、歌唱（子どもの歌 12月）	ピアノテキスト15（バイエル48番）	おかえりのうた（タッカのリズム）	ピアノテキスト34（バイエル78番）	まつぼっくり・大きな栗の木の下で	ピアノテキスト46（バイエル91番）	はたけのポルカ・やまももグーサー・バー・きのこ	月 日	出・欠
12	音楽の基礎知識⑧-1省略記号、歌唱（子どもの歌 1月）	ピアノテキスト16（バイエル59番）	さようならのうた（高すすむ詞）（臨時記号）	ピアノテキスト39（バイエル96番）	ジングルベル・ゆき	バイエルNo.100	あわてんぼうのサンタクロース・ジングルベル・ゆき	月 日	出・欠
13	音楽の基礎知識⑧-2省略記号 練習問題、歌唱（子どもの歌 2月）	ピアノテキスト17（バイエル67番）	おててをあらいましよ（16分音符）	ピアノテキスト44（バイエル80番）	お正月・まめまき	アラバスク	ありがたうきようなら・せんせいとおともだち	月 日	出・欠
14	音楽の基礎知識⑨強弱記号と速度記号、歌唱（子どもの歌 3月）	ピアノテキスト19（バイエル86番）	チューリップ（ステップⅠ）	ピアノテキスト46（バイエル91番）	うれしいひなまつり	ソナチネop.36-1	お正月・まめまき・一年生になったら	月 日	出・欠
15	振り返りと試験対策	試験曲	チューリップ（ステップⅡ）	試験曲	思い出のアルバム	試験曲	おはながわらった・うれしいひなまつり・思い出のアルバム	月 日	出・欠
授業で取り入れているアクティブラーニング									
ペアワーク、グループワーク、発表（歌唱表現等）									
課題、試験に対するフィードバックの方法									
歌唱実技試験・・・問い合わせがある場合に個別で応じる。									
ピアノ実技試験・・・課題リストの提出にて、授業評価を行う。試験・成績評価については問い合わせがある場合に個別に応じる。									
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む				成績評価の方法・基準					
・予習：ピアノ練習1日30分程度【3.5時間/週】				実技試験・・・60%（歌唱①15%②15%、ピアノ30%）					
・復習：音楽の基礎知識の課題・子どもの歌の復習【1時間/週】				取り組み・・・40%（一斉受講態度10%、ピアノ受講態度10%、課題リスト・歌唱活動構成表達成率20%）合計100%					
テキスト・参考文献・持参物・検定料等									
【テキスト】全国大学音楽教育学会九州地区学会編『保育士・幼稚園教諭 小学校教諭養成のためのピアノテキスト』カワイ出版社 大海由佳他『保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集第1巻』Gakken出版社 大海由佳他『保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集第2巻』Gakken出版社 神原雅之他『改訂 幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育』教育芸術社									

授業科目名		担当者		
情報処理演習Ⅱ		竹野 博信		
授業の概要・履修上の注意事項				
<p>・表計算ソフトを使用して、関数式のある表の作成やグラフ作成、データ活用などの基本操作を学びます。それを踏まえて、園児名簿やカレンダーなど実務に利用できる例を作成しながら活用方法について理解を深めます。</p> <p>・プレゼンテーションソフトの基本操作を習得し、スライドを活用した保育教材の作成方法について学びます。</p> <p>・関数式を作ることが必要となるため、数学の基礎と文章読解力を身につけておきましょう。</p> <p>・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがあります。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は「関連企業の勤務経験があり、初級システムアドミニストレータほかコンピュータに関するさまざまな資格を取得しており、その経験と資格を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育現場で求められる文書作成能力、情報モラル、Webコミュニケーションのあり方」について獲得・理解することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	Microsoft Excel概論(1)一画面構成とデータ入力の基礎、計算式の入力等	月 日	出・欠	
2	Microsoft Excel概論(2)一よく使う関数、絶対参照と相対参照、罫線等	月 日	出・欠	
3	Microsoft Excel概論(3)一グラフ作成、関数①(IF関数と比較演算子)	月 日	出・欠	
4	Microsoft Excel概論(4)一関数②(IF関数の複合条件と論理演算子)	月 日	出・欠	
5	Microsoft Excel概論(5)一関数③(RANK.EQ関数、VLOOKUP関数)	月 日	出・欠	
6	Microsoft Excel概論(6)一関数④(COUNTIF関数、SUMIF関数)	月 日	出・欠	
7	Microsoft Excel概論(7)一便利な機能(セルの参照、結合、条件付き書式、ソート、フィルター等)	月 日	出・欠	
8	保育現場で使える表の作成(1)一給食だよりとカレンダー	月 日	出・欠	
9	保育現場で使える表の作成(2)一園児名簿の作成①(生年月日から満年齢を求める等)	月 日	出・欠	
10	保育現場で使える表の作成(3)一園児名簿の作成②(IF関数を利用する等)	月 日	出・欠	
11	Microsoft Power Point概論(1)一画面構成、文字の装飾と図形、グラフの活用等	月 日	出・欠	
12	Microsoft Power Point概論(2)一アニメーション効果、表、画像、ワードアートの挿入等	月 日	出・欠	
13	Microsoft Power Point概論(3)一スライドショー、印刷、プレゼンテーションの基礎等	月 日	出・欠	
14	保育に活かすICT活用(1)一デジタル紙芝居作成準備：題材考察と作成(グループディスカッション)	月 日	出・欠	
15	保育に活かすICT活用(2)一デジタル紙芝居の作成と実演(グループワーク)	月 日	出・欠	
授業で取り入れているアクティブラーニング				
課題(演習)、協同学習(グループディスカッション、グループワーク)				
課題、試験に対するフィードバックの方法				
課題や提出物に対して、講評を行う。試験、成績評価については、問い合わせがある場合に個別に応じる。				
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準		
<p>・予習：保育雑誌や絵本を読み、デジタル紙芝居の構想を練る。【20分/週】</p> <p>・復習：課題に取り組む。【40分/週】</p>		定期試験60%、課題40%、合計100%		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
【テキスト】『30時間でマスター Office2019 (Windows10対応)』実教出版、『改訂4版 情報モラル&情報セキュリティ』FOM出版				
【参考文献】『保育者のためのパソコン講座』萌文書林、『情報処理テキスト～幼稚園・保育所の保育実践とメディアの活用～』みるめ書房、『情報リテラシー 入門編 Windows 10 / Office 2019対応』FOM出版				
【持参物】筆記用具、ノート				

授業科目名		担当者		
社会的養護Ⅱ		上栗 明男		
授業の概要・履修上の注意事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉施設における直接処遇職員としてのスキルを習得します。 ・授業の中で「課題を持った子ども役」と「保育者役」を数人の学生に演じてもらいますが、その役が自分には不適切である場合は申し出て下さい。 ・評価はレポートを中心にしますが、その評価ポイントを事前に説明しておきます。 ・オフィス・アワーとして授業前後の時間に質問を受け付けます。 ・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがあります。 <p>※実務教員による授業科目。児童養護施設47年間の実務経験があり、現在は児童心理治療施設の施設長をしている。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	子どもとのコミュニケーション技法	月 日	出・欠	
2	ロールプレイ①家出・非行のある女兒(事例1)	月 日	出・欠	
3	ロールプレイ②不登校の男児又は家庭内暴力のある女兒(事例2・事例3)	月 日	出・欠	
4	ロールプレイ③虐待を受けた女兒(事例4)	月 日	出・欠	
5	被虐待児に特徴的な問題行動	月 日	出・欠	
6	感情爆発させた児童への対応	月 日	出・欠	
7	子どもの自傷行為への対応	月 日	出・欠	
8	行動記録の取り方(ビデオ視聴による記録の実技)	月 日	出・欠	
9	子ども虐待のサイン(事例を使ったチェックリストの作成)	月 日	出・欠	
10	グループ討議①学校・保育施設・児童委員等による「地域の見守り」(事例7)	月 日	出・欠	
11	グループ討議②児童相談所の「危機介入」(事例9)	月 日	出・欠	
12	「作詩療法」気持ちを言語化できない児童の「詩」による自己表現(事例8)	月 日	出・欠	
13	安全配慮義務とは(保育現場の死亡事故から学ぶ)	月 日	出・欠	
14	参加メンバーを掌握するためのレク指導「フォーカスゲーム・サークルゲーム・グループ対抗ゲーム」	月 日	出・欠	
15	まとめとフィードバック	月 日	出・欠	
授業で取り入れているアクティブラーニング				
ロールプレイ、グループワーク、スピーチ				
課題、試験に対するフィードバックの方法				
成績評価における問い合わせには、数値化した「評価項目」とその理由を文書で対応します。				
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準		
<ul style="list-style-type: none"> ・予習：「子ども虐待事案」「保育現場の事故」等の報道に関心を持っておいてください。【1時間/週】 ・復習：授業で使用した事例を読み返してください。【1時間/週】 		レポート(事前に設題し、評価ポイントを説明する)90%、ロールプレイや実技等への参加と受講態度10%、合計100%		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
【テキスト】事例・リスト等をプリント配付します。				
【参考文献】櫻井慶一編著『社会的養護Ⅰ』北大路書房				
【持参物】筆記用具				

授業科目名		担当者			
音楽Ⅱ		井上美佳・赤川優子・中村桂子・東尚子			
授業の概要・履修上の注意事項					
<p>・一斉授業目標;音楽の理論(調・コード)を学ぶ。基本的な歌唱活動の指導ができる。基本的な合奏活動を体験する。</p> <p>・個別実技目標:保育者として自分自身が楽しむことを大切にしながら個人に合わせた実技指導を行う。</p> <p>・到達目標;ピアノA・・・コード奏弾き歌いレパートリーが15曲以上ある。(C:F:必須)</p> <p>・到達目標;ピアノB・・・コード奏弾き歌いレパートリーが20曲以上ある。(C:F:G:必須)</p> <p>・到達目標;ピアノC・・・コード奏弾き歌いレパートリーが30曲以上ある。(C:F:G:D:必須)</p> <p>・A～C共通到達目標;ピアノ曲1曲(ピアノ曲課題については、「ソナチネ」・「アラベスク」・「バイエル」の中から担当講師が進度にあわせて選択する。)</p> <p>・オフィス・アワーとして授業後に質問を受け付けます。</p> <p>・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがあります。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者井上美佳は元中学校教諭、赤川優子は元中学校、及び高等学校教諭であり、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「音楽の基本的な技能を身につけ豊かに表現することができる」を獲得することができる。</p>					
	一斉授業内容・計画	コード奏実技内容・計画	ピアノ曲実技内容・計画	実施日	出欠
1	オリエンテーション・コード奏C:	夏課題確認	夏課題確認	月 日	出・欠
2	歌唱活動指導法導入、コード奏C:F:	コード奏ハ長調の課題曲	ピアノ曲(個人課題)	月 日	出・欠
3	曲構成・コード奏C:F:G:	コード奏ヘ長調の課題曲	ピアノ曲(個人課題)	月 日	出・欠
4	移調・コードについてC:F:G:D:)	コード奏ト長調の課題曲	ピアノ曲(個人課題)	月 日	出・欠
5	合奏活動指導法導入	コード奏二長調の課題曲	ピアノ曲(個人課題)	月 日	出・欠
6	合奏活動体験	コード奏・歌唱指導選択曲	ピアノ曲(個人課題)	月 日	出・欠
7	合奏指導法(練習計画)	コード奏・歌唱指導選択曲	ピアノ曲(試験曲)	月 日	出・欠
8	合奏指導法(個人練習)	コード奏・歌唱指導選択曲	ピアノ曲(試験曲)	月 日	出・欠
9	合奏指導法(パート練習)	コード奏・歌唱指導選択曲	ピアノ曲(試験曲)	月 日	出・欠
10	合奏指導法(部分練習)	コード奏・歌唱指導選択曲	ピアノ曲(試験曲)	月 日	出・欠
11	合奏指導法(全体練習)	コード奏・歌唱指導選択曲	ピアノ曲(試験曲)	月 日	出・欠
12	歌唱活動模擬保育(1～5)	コード奏・歌唱指導選択曲	ピアノ曲(試験曲)	月 日	出・欠
13	歌唱活動模擬保育(6～10)	コード奏・歌唱指導選択曲	ピアノ曲(試験曲)	月 日	出・欠
14	歌唱活動模擬保育(10～15)	コード奏・歌唱指導選択曲	ピアノ曲(試験曲)	月 日	出・欠
15	歌唱活動模擬保育(16～最後)	コード奏・歌唱指導選択曲	ピアノ曲(試験曲)	月 日	出・欠
授業で取り入れているアクティブラーニング					
協同学習(シンク・ペア・シェア)					
課題、試験に対するフィードバックの方法					
歌唱指導の模擬保育実技試験を行いアドバイスシートによるフィードバックを行う。					
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む			成績評価の方法・基準		
<p>・予習: 次時の課題を1日10分以上【1時間以上/週】</p> <p>・復習: 前時の課題を1日10分以上【1時間以上/週】</p>			<p>筆記試験 20%、実技試験(1人3分程度)ピアノ曲1曲 20%・弾き歌いコード奏1曲 20%、 授業内課題・課題リスト達成率・授業態度 40%、 合計100%</p>		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等					
【テキスト】『保育士・幼稚園教諭小学校教諭養成のためのピアノテキスト』カワイ出版、『幼児のための音楽教育』教育芸術社、『保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集 第1巻 第2巻』Gakken、適宜資料配付					
【持参物】ファイル、課題リスト					

授業科目名		担当者			
音楽Ⅲ		井上美佳・赤川優子・川畑由紀子・竹内佳代			
授業の概要・履修上の注意事項					
<ul style="list-style-type: none"> ・一斉授業目標：歌唱活動の指導法を学び、援助の方法を習得する。 ・個別実技目標：保育者として自分自身が楽しむことを大切にしながら個人に合わせた実技指導を行う。 ・到達目標；ピアノA・・・6月(教育実習)8月9月(保育実習)10月(教育実習)の歌唱活動を10曲以上で構成できる。 ・到達目標；ピアノB・・・6月(教育実習)8月9月(保育実習)10月(教育実習)の歌唱活動を15曲以上で構成できる。 ・到達目標；ピアノC・・・6月(教育実習)8月9月(保育実習)10月(教育実習)の歌唱活動を20曲以上で構成できる。 ・選択する楽譜については、弾き歌い伴奏集のレベルⅡ以上であること。 ・オフィス・アワーとして、授業後に質問を受け付けます。 ・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがあります。 					
※実務教員による授業科目。担当者井上美佳は元中学校教諭、赤川優子は元中学校、及び高等学校教諭であり、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「音楽の基本的な技能を身につけ豊かに表現することができる」を獲得することができる。					
	一斉授業内容・計画	ピアノA	ピアノB・C	実施日	出欠
1	実習にむけて歌唱指導曲構成	とけいのうた	とけいのうた・あめふりくまのこ	月 日	出・欠
2	歌唱活動における視覚教材の役割	とけいのうた	6月実習用	月 日	出・欠
3	教材研究①とけいのうたA	6月実習用	とけいのうた・あめふりくまのこ	月 日	出・欠
4	教材研究①とけいのうたB・C	あめふりくまのこ	6月実習用	月 日	出・欠
5	教材研究②あめふりくまのこA	6月実習用	あめふりくまのこ	月 日	出・欠
6	教材研究②あめふりくまのこB	8月実習用	8月実習用	月 日	出・欠
7	教材研究②あめふりくまのこC	おばけなんてないさ・幼稚園試験課題曲	8月実習用	月 日	出・欠
8	教材研究③おばけなんてないさA	8月実習用・幼稚園試験課題曲	おばけなんてないさ	月 日	出・欠
9	教材研究③おばけなんてないさB	9月実習用・幼稚園試験課題曲	9月実習用・幼稚園試験課題曲	月 日	出・欠
10	教材研究③おばけなんてないさC	とんぼのめがね・幼稚園試験課題曲	9月実習用・幼稚園試験課題曲	月 日	出・欠
11	教材研究④とんぼのめがねA	9月実習用	とんぼのめがね・こぎつね	月 日	出・欠
12	教材研究④とんぼのめがねB・C	こぎつね・10月実習用	10月実習用	月 日	出・欠
13	教材研究⑤こぎつねA	10月実習用	10月実習用	月 日	出・欠
14	教材研究⑤こぎつねB・C	試験月課題	試験月課題	月 日	出・欠
15	わらべうた研究	試験月課題	試験月課題	月 日	出・欠
授業で取り入れているアクティブラーニング					
協同学習(シンク・ペア・シェア)					
課題、試験に対するフィードバックの方法					
歌唱指導の模擬保育実技試験を行いアドバイスシートによるフィードバックを行う。					
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準			
<ul style="list-style-type: none"> ・予習：次時の課題を1日10分以上【1時間以上/週】 ・復習：前時の課題を1日10分以上【1時間以上/週】 		教材研究5課題30%、レポート10%、一斉授業受講態度10%、実技試験(1人5分～10分程度)30%、ピアノ授業課題リスト達成率・歌唱活動構成表・受講態度20%、合計100%			
テキスト・参考文献・持参物・検定料等					
【テキスト】『保育士・幼稚園教諭小学校教諭養成のためのピアノテキスト』カワイ出版、『幼児のための音楽教育』教育芸術社、『保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集 第1巻 第2巻』Gakken、適宜資料配付					
【持参物】ファイル、課題リスト					

授業科目名		担当者		
子ども家庭支援論		中邑 隆哉		
授業の概要・履修上の注意事項				
<p>・現在の家族を取り巻く社会環境における家庭生活の変化に伴い、育児の不安感や負担感は以前にも増して大きな課題となっている。保育士には、家庭を形成する夫婦、親子、きょうだいのあり方を理解し、それをふまえて適切な「相談・助言」を行うことが求められている。</p> <p>・それぞれの家庭に応じた多様な子育て支援対策を提供するために、どのように保育士が援助活動を行い、関係機関が取り組んでいるかを知る。また近年増加している虐待やDV、発達障がい等で育てにくいと思われる子どもがいる家庭の保護者への対応を学ぶ。</p> <p>・保育士の役割は子どもへの「保育」と保護者に対する「保育指導」がある。この授業では、育児の負担感を抱える保護者を対象に、いかに行政や地域がその支援へ手を差し伸べているかを知り、保育者も支援者の一員であることを理解してほしい。</p> <p>・オフィス・アワーとして、授業前後の時間に質問等を受け付けるので、不明な点があれば尋ねてほしい。</p> <p>・グループワークとして課題についてディスカッションの時間を持つ。また授業時間内にレポートの提出を求めることがあるので、その日の授業内容の復習の意味を含め、自分の考えをまとめて文章にする力をつけてほしい。</p> <p>・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがある。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は認定こども園の園長として園の運用と経営にあたるほか、山口県私立幼稚園協会の理事長を務めている。受講者は、学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	子どもが育つ場としての「家族」「家庭」とは		月 日	出・欠
2	子育て家庭を取り巻く社会環境の変化		月 日	出・欠
3	家族の動向と現状		月 日	出・欠
4	少子化の現状		月 日	出・欠
5	情報の活用について		月 日	出・欠
6	子育て意識の変化		月 日	出・欠
7	社会状況と結婚・子育て		月 日	出・欠
8	子育ての不安感や負担感		月 日	出・欠
9	家庭支援における保育士の役割		月 日	出・欠
10	これまでの少子化対策		月 日	出・欠
11	特別なニーズへの対応 「育てにくさのある子を持つ親への対応」		月 日	出・欠
12	特別なニーズへの対応 「乳幼児の虐待」		月 日	出・欠
13	特別なニーズへの対応 「外国籍の子どもとその家庭・ひとり親家庭・DV」		月 日	出・欠
14	相談・援助者の役割と基本的態度		月 日	出・欠
15	家庭支援論のまとめ		月 日	出・欠
授業で取り入れているアクティブラーニング				
課題(レポート)、協同学習(グループワーク)				
課題、試験に対するフィードバックの方法				
授業並びに試験終了後に簡単なまとめと質問の時間を持つ				
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む			成績評価の方法・基準	
<p>・予習：事前に資料を配付するので、次回の授業までに目を通しておく【2時間/週】</p> <p>・復習：配付資料を読み返す【2時間/週】</p>			定期試験60%、レポート30%、受講態度10%、合計100%	
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
【テキスト】特定の教科書は使用せず、必要な資料を参考文献から引用し配付する。				
【参考文献】土谷みち子編著『子ども家庭支援論』青踏社、阿部和子著『子どもが子どもの生活をするために』萌文書林、吉田眞理著『児童の福祉を支える「家庭支援論」』萌文書林				

授業科目名		担当者		
乳児保育Ⅱ		数井 智子		
授業の概要・履修上の注意事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの方針について理解する。 ・養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ・乳児保育における配慮の実践について、具体的に理解する。 ・オフィスアワーとして授業前後の時間に質問を受け付けます。 ・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがあります。 <p>※実務教員による授業科目。担当者は公立保育所に長年勤務し、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能。保育現場で活かす実践力」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	前期の振り返りと後期のオリエンテーション	月 日	出・欠	
2	6か月未満の子どもの育ちと保育内容	月 日	出・欠	
3	6か月以上1歳未満児の子どもの育ちと保育内容Ⅰ（基本的生活・遊び）	月 日	出・欠	
4	6か月以上1歳未満児の子どもの育ちと保育内容Ⅱ（他者との関係・ことばの育ち）	月 日	出・欠	
5	1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容Ⅰ（基本的生活・遊び）	月 日	出・欠	
6	1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容Ⅱ（自我・感情の育ち）	月 日	出・欠	
7	2歳～3歳の子どもの育ちと保育内容Ⅰ（基本的生活・遊び）	月 日	出・欠	
8	2歳～3歳の子どもの育ちと保育内容Ⅱ（他者との関係・意欲の育ち）	月 日	出・欠	
9	乳児保育における保育者の専門性と役割（保護者との信頼関係・子育て支援）	月 日	出・欠	
10	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境Ⅰ（魅力ある環境と遊び）	月 日	出・欠	
11	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境Ⅱ（季節の行事に因んだ遊び環境）	月 日	出・欠	
12	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境Ⅲ（手作りおもちゃと遊びのアイデア）	月 日	出・欠	
13	乳児保育における指導計画（指導計画の特徴とデイリープログラムの実際）	月 日	出・欠	
14	観察・記録・自己評価	月 日	出・欠	
15	まとめ（乳児保育の専門家としての学び）	月 日	出・欠	
授業で取り入れているアクティブラーニング				
ペアワーク、グループワーク				
課題、試験に対するフィードバックの方法				
課題についてのフィードバックについては、レポート提出・小テスト終了後に説明を行う。				
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準		
<ul style="list-style-type: none"> ・予習：新聞・テレビ・雑誌などで子どもや育児、保育、保育園の話題を見つけて意見交換する。【30分～1時間/週】 ・復習：玩具店・公園などでおもちゃや遊具について安全的視点で観察研究をする。【30分～1時間/週】 		課題に対するレポート・小テスト（解説10分含む）40%、受講態度20%、実技40% 合計100%		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
【テキスト】松本峰雄監修『乳児保育演習ブック』第2版 ミネルヴァ書房、幼稚園教育要領解説（平成30年3月 文部科学省）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月 内閣府・文部科学省・厚生労働省）、保育所保育指針解説（平成30年3月 厚生労働省）				
【参考文献】必要に応じて適宜資料を配付				
【持参物】指定したもの				

授業科目名		担当者		
教育実習事前事後指導 <1年生>		佐々木 和美		
授業の概要・履修上の注意事項				
<p>・教育実習に臨むために必要な知識・技能・態度を習得する。教育実習Ⅰでは本学指定幼稚園で実習を行う。</p> <p>・実習を通して基本的な子ども観・保育観を具体的に身に付け、幼稚園教諭としての資質・能力を養う。そのために実習マナーをはじめ、実習の心得、実習日誌、指導案、保育実技(手遊び、絵本の読み聞かせ、ピアノの弾き歌い等)等の指導に重点を置く。</p> <p>・Google Classroom、オープン教材を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがある。</p> <p>【注意事項】</p> <p>1.課題レポートの未提出や授業欠席の多い学生、著しく実習マナーを欠くと思える学生は実習に行くことができない。</p> <p>2.実習後、評価によって個別指導を行う。</p> <p>3.原則、教育実習Ⅲと連動して単位を認定する。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は幼稚園に長年勤務し、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能。保育現場で活かす実践力」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	幼稚園の役割と機能、幼稚園観察・見学実習実習について		月 日	出・欠
2	幼稚園観察・見学実習・・・幼稚園の実態を理解し、今後の学習や実習に備える。		月 日	出・欠
3	実習の内諾について・・・依頼の手順、希望実習先を調べる。	<保育実技>絵本	月 日	出・欠
4	実習日誌の書き方・・・時系列の記録等について	<保育実技>絵本	月 日	出・欠
5	希望実習先の確認、内諾書の記入、提出物の確認について	<保育実技>絵本	月 日	出・欠
6	教育実習Ⅰに向けて・・・心得、マナー、確認事項、個人票、評価票への記入等		月 日	出・欠
7	事前訪問の仕方について	<保育実技>手遊び歌	月 日	出・欠
8	実習自己課題の立て方・・・実習目標と自己課題の設定	<保育実技>手遊び歌	月 日	出・欠
9	お礼状の書き方、今後の実習について		月 日	出・欠
10	教育実習Ⅰ後のグループワーク、自己評価・振り返りについて		月 日	出・欠
11			月 日	出・欠
12			月 日	出・欠
13			月 日	出・欠
14			月 日	出・欠
15			月 日	出・欠
授業で取り入れているアクティブラーニング				
課題(レポート)、実技、協同学習(グループワーク)、発表(スピーチ)振り返り				
課題、試験に対するフィードバックの方法				
課題についてのフィードバックは、実習終了後自己評価を行い、実習先の評価と照らし合わせ、PDCAサイクルを実施している。				
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準		
<p>・予習：事前にテキストを読み授業に備える。【1時間/週】 保育実技(絵本、手遊び等)の練習【1時間/週】</p> <p>・復習：授業の振り返り【0.5時間/週】</p>		<p>授業態度30%、課題提出と内容40%、 発表内容・保育実技30%、 合計100%</p>		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
<p>【テキスト】岩国短期大学実習委員会編『令和7年度実習の手引き』、大元千種監修『書き方・あそび・保育のコツがわかる実習日誌と指導案のサポートブック』ナツメ社、名須川知子監修『保育者になる人のための実習ガイドブックAtoZ』萌文書林</p> <p>【参考文献】幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月内閣府・文部科学省・厚生労働省)</p> <p>【持参物】「実習の手引き」参照</p>				

授業科目名		担当者		
教育実習事前事後指導 <2年生>		佐々木 和美		
授業の概要・履修上の注意事項				
<p>・教育実習に臨むために必要な知識・技能・態度を習得する。教育実習Ⅱ・Ⅲでは希望幼稚園で実習を行う。</p> <p>・実習を通して基本的な子ども観・保育観を具体的に身に付け、幼稚園教諭としての資質・能力を養う。そのために実習マナーをはじめ、実習の心得、実習日誌、指導案、保育実技(手遊び、絵本の読み聞かせ、ピアノの弾き歌い等)や部分・半日・全日実習等での指導に重点を置く。</p> <p>・Google Classroom、オープン教材を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがある。</p> <p>【注意事項】</p> <p>1.課題レポートの未提出や授業欠席の多い学生、著しく実習マナーを欠くと思える学生は実習に行くことができない。</p> <p>2.実習後、評価によって個別指導を行う。</p> <p>3.原則、教育実習Ⅲと連動して単位を認定する。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は幼稚園に長年勤務し、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能。保育現場で活かす実践力」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	教育実習Ⅱ・Ⅲに向けて・・・個人票等日乙のような提出書類の作成、事前訪問について		月 日	出・欠
2	実習自己課題、指導案の立て方について	模擬保育 朝・帰りの会	月 日	出・欠
3	部分案と模擬保育①・・・部分案についてグループワーク	模擬保育 朝・帰りの会	月 日	出・欠
4	部分案と模擬保育②・・・模擬保育の実践(季節に応じた活動内容)	模擬保育 朝・帰りの会	月 日	出・欠
5	教育実習Ⅱ後のグループワーク、振り返り、自己評価		月 日	出・欠
6	教育実習Ⅲに向けて・・・部分・半日・全日実習等、実習自己課題について		月 日	出・欠
7	部分案と模擬保育③・・・部分案についての話し合い		月 日	出・欠
8	部分案と模擬保育④・・・模擬保育の実践(年齢や季節に応じた活動内容)		月 日	出・欠
9	教育実習Ⅲ後のグループワーク、振り返り、自己評価		月 日	出・欠
10	まとめ・・・合同授業への取り組み(ポスター制作)		月 日	出・欠
11			月 日	出・欠
12			月 日	出・欠
13			月 日	出・欠
14			月 日	出・欠
15			月 日	出・欠
授業で取り入れているアクティブラーニング				
課題(レポート)、実技、協同学習(グループワーク)、発表(スピーチ)、振り返り				
課題、試験に対するフィードバックの方法				
課題についてのフィードバックは、実習終了後自己評価を行い、実習先の評価と照らし合わせ、PDCAサイクルを実施している。				
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準		
<p>・予習：事前にテキストを読み授業に備える。【1時間/週】</p> <p>実習に向けての資料収集、指導案の立案【1時間/週】</p> <p>・復習：授業の振り返り【0.5時間/週】</p>		<p>授業態度30%、課題提出と内容40%、</p> <p>発表内容・保育実技30%、</p> <p>合計100%</p>		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
<p>【テキスト】岩国短期大学実習委員会編『令和6年度実習の手引き』、大元千種監修『書き方・あそび・保育のコツがわかる実習日誌と指導案のサポートブック』ナツメ社、名須川知子監修『保育者になる人のための実習ガイドブックAtoZ』萌文書林</p> <p>【参考文献】幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月内閣府・文部科学省・厚生労働省)</p> <p>【持参物】「実習の手引き」参照</p>				

授業科目名		担当者		
保育実習指導 I (保育所)		佐々木 和美		
授業の概要・履修上の注意事項				
<p>・子どもの最善の利益を考慮した保育、保護者支援、子どもの状態に応じた適切な関わり、保育技術を生かした保育実践力を高めるための学習をし、保育士の専門性よ職業倫理について理解する。事後指導では実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にしておく。</p> <p>・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがある。</p> <p>【注意事項】</p> <p>1.課題レポートの未提出や授業欠席の多い学生、著しく実習マナーを欠くと思える学生は実習に行くことができない。</p> <p>2.実習後、評価によって個別指導を行う。</p> <p>3.原則、教育実習Ⅲと連動して単位を認定する。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は幼稚園に長年勤務し、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能。保育現場で活かす実践力」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	オリエンテーション、実習の内規と履修資格等について		月 日	出・欠
2	実習の意義と目的、名札作り	<保育実技>絵本	月 日	出・欠
3	保育所見学実習について・・・記録の書き方、子どもとの関わり方等	<保育実技>絵本	月 日	出・欠
4	実習手続きと実習先の決定・・・希望実習先、訪問の仕方について	<保育実技>絵本	月 日	出・欠
5	保育所見学実習①保育所の実態を理解する。		月 日	出・欠
6	保育所見学実習②子どもと関わり発達段階を理解する。		月 日	出・欠
7	保育所見学実習③保育士の援助の仕方を観察し、理解する。		月 日	出・欠
8	保育所見学実習④保育所の機能、保育士の役割を理解する。		月 日	出・欠
9	保育所見学実習の振り返り、グループでの話し合い		月 日	出・欠
10	実習自己課題、部分実習指導案作成について		月 日	出・欠
11	実習の概要・・・保育所(園)の一日の生活の流れ、実習の内容、留意点等を理解する。		月 日	出・欠
12	保育内容と指導案の立案	<保育実技>手遊び歌	月 日	出・欠
13	模擬保育の実践	<保育実技>手遊び歌	月 日	出・欠
14	保育実習 I に向けて確認	<保育実技>手遊び歌	月 日	出・欠
15	保育実習 I 事後指導・・・保育実習を振り返り、グループワーク		月 日	出・欠
授業で取り入れているアクティブラーニング				
課題(レポート)、実技、協同学習(グループワーク)、発表(スピーチ)、振り返り				
課題、試験に対するフィードバックの方法				
<p>課題については、実習終了後自己評価を行い、実習先の評価と照らし合わせ、PDCAサイクルを実施する。</p> <p>試験、成績評価については、問い合わせがある場合に個別に応じる。</p>				
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準		
<p>・予習：事前にテキストを読み授業に備える。【1時間/週】 実習に向けての資料収集、指導案の立案【1時間/週】</p> <p>・復習：授業の振り返り【0.5時間/週】</p>		<p>授業態度・課題提出30%、発表内容・保育実技30%、 定期試験40%、 合計100%</p>		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
<p>【テキスト】岩国短期大学実習委員会編『令和7年度実習の手引き』、大元千種監修『書き方・あそび・保育のコツがわかる実習日誌と指導案のサポートブック』ナツメ社、名須川知子監修『保育者になる人のための実習ガイドブックAtoZ』萌文書林</p> <p>【参考文献】保育所保育指針(平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月内閣府・文部科学省・厚生労働省)</p> <p>【持参物】「実習の手引き」参照</p>				

授業科目名		担当者			
保育実習指導Ⅱ		佐々木 和美			
授業の概要・履修上の注意事項					
<p>・子どもの最善の利益を考慮した保育、保護者支援、子どもの状態に応じた適切な関わり、保育技術を生かした保育実践力を高めるための学習をし、保育士の専門性や職業倫理について理解する。事後指導では実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にしておく。</p> <p>・Google Classroom、オープン教材等を活用し、授業、授業後の振り返り、予習・復習に役立てることがある。</p> <p>【注意事項】</p> <p>1.課題レポートの未提出や授業欠席の多い学生、著しく実習マナーを欠くと思える学生は実習に行くことができない。</p> <p>2.実習後、評価によって個別指導を行う。</p> <p>3.原則、教育実習Ⅲと連動して単位を認定する。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は幼稚園に長年勤務し、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能。保育現場で活かす実践力」を獲得することができる。</p>					
授業内容・計画				実施日	出欠
1	保育実習Ⅱのねらいと実習内容について	模擬保育 朝・帰りの会	月 日	出・欠	
2	個人票等の準備、実習自己課題の設定、	模擬保育 朝・帰りの会	月 日	出・欠	
3	指導案の作成：年齢(乳児、幼児)に合わせた活動内容	模擬保育 朝・帰りの会	月 日	出・欠	
4	部分案と模擬保育①・・・音楽あそび		月 日	出・欠	
5	部分案と模擬保育②・・・運動あそび		月 日	出・欠	
6	部分案と模擬保育②・・・造形あそび		月 日	出・欠	
7	部分案と模擬保育③・・・年齢や季節に合わせたあそび		月 日	出・欠	
8	部分案と模擬保育④・・・季節に合わせたあそび		月 日	出・欠	
9	半日・全日実習指導案の作成について		月 日	出・欠	
10	実習後のグループワーク、自己評価と振り返り・・・評価票に基づき実習を振り返り		月 日	出・欠	
11	まとめ①・・・合同授業への取り組み(ポスター制作草案作り)		月 日	出・欠	
12	まとめ②・・・合同授業への取り組み(ポスター製作)		月 日	出・欠	
13	まとめ③・・・合同授業への取り組み(ポスター発表)		月 日	出・欠	
14	1年生との合同授業		月 日	出・欠	
15	実習の総括と今後の課題への取り組み		月 日	出・欠	
授業で取り入れているアクティブラーニング					
課題(レポート)、実技、協同学習(グループワーク)、発表(スピーチ)、振り返り					
課題、試験に対するフィードバックの方法					
<p>課題については、実習終了後自己評価を行い、実習先の評価と照らし合わせ、PDCAサイクルを実施する。</p> <p>試験については、各自で振り返り、理解すること。分からないことには質問に応じる。</p>					
予習・復習【学習時間の目安】オンライン支援含む		成績評価の方法・基準			
<p>・予習：事前にテキストを読み授業に備える。【30分/週】 実習に向けての資料収集、指導案の立案【1時間/週】</p> <p>・復習：授業の振り返り【30分/週】</p>		<p>授業態度・課題提出30%、発表内容・保育実技30%、 定期試験40%、 合計100%</p>			
テキスト・参考文献・持参物・検定料等					
<p>【テキスト】岩国短期大学実習委員会編『令和6年度実習の手引き』、大元千種監修『書き方・あそび・保育のコツがわかる実習日誌と指導案のサポートブック』ナツメ社、名須川知子監修『保育者になる人のための実習ガイドブックAtoZ』萌文書林</p> <p>【参考文献】保育所保育指針(平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月内閣府・文部科学省・厚生労働省)</p> <p>【持参物】「実習の手引き」参照</p>					